

14 いろいろな葉の形を観察しよう

用意するもの

身近な植物（10種類）の葉をそれぞれ1枚ずつ、メモ用紙、鉛筆、虫めがね

やりかた

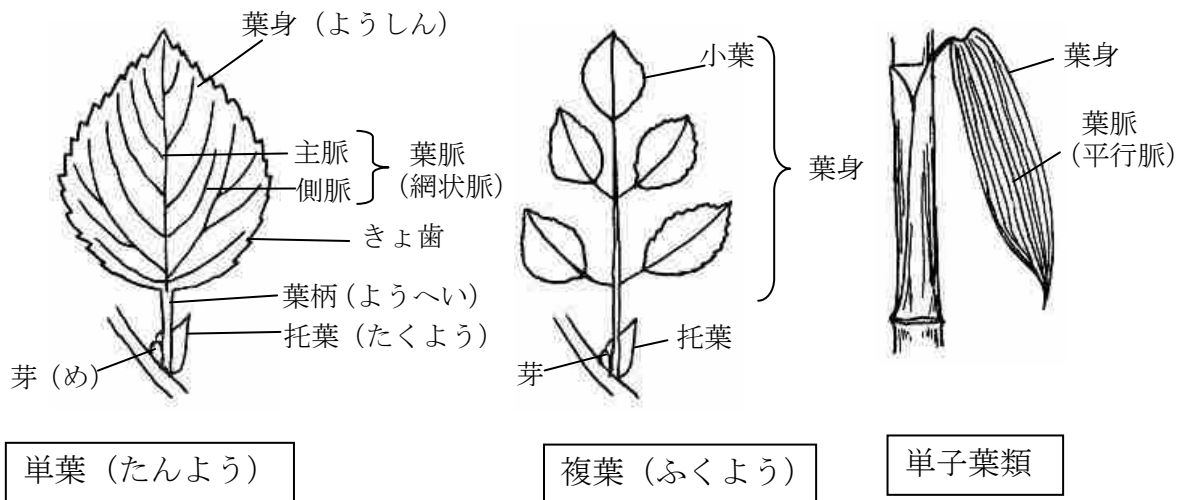
- 1 採集した葉を観察し、スケッチする。
- 2 次の参考をもとに、それぞれの葉について、単葉複葉・形・へり・つき方について調べ、まとめる。
- 3 植物の名前を植物図鑑や検索サイトで調べ、自分で調べたことを確認する。
※植物の中には、一つの株にある葉でも多様な形をしている場合があります。この場合には、自分が調べたことと図鑑に書いてあることが、違う場合があります。気にしないでください。

参考

1 葉の基本形

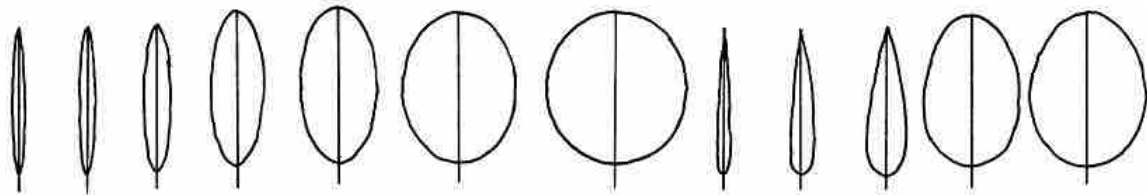
葉には、単葉（たんよう）と複葉（ふくよう）に分けられます。単葉は葉が1枚からなり、複葉は小葉（しょうよう）が複数あるものです。単葉と複葉の見分け方は、葉のもとに托葉（たくよう）という小さな葉があるか、托葉から変化したと考えられるトゲがあるか、枝や茎の芽や花芽があるかどうかです。複葉をつくる小葉のもとには托葉やトゲはありません。

ただし、全ての植物の葉のもとに托葉、トゲ、枝や茎の芽、花芽があるとは限りません。いろいろな、葉を直接観察してみましょ。また、単子葉類の葉は単葉ですが、葉脈が平行脈となっているため、すぐにわかります。

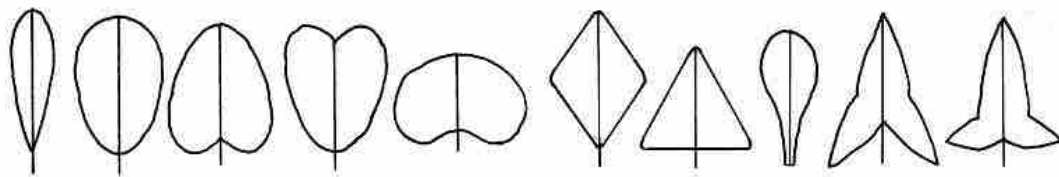


2 葉の形

植物の葉の形は次のように種によってそれぞれちがいます。また、同じ種類の葉でも若い葉と成熟した葉とでは形がちがう場合があります。



アイ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ



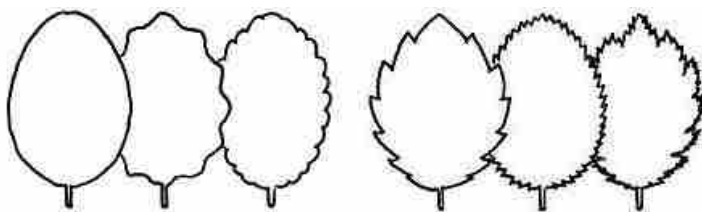
ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ

ア：糸状（いとじょう）、イ：線形（せんけい）、ウ：広線形（こうせんけい）、エ：長楕円形（ちょうだえんけい）、オ：楕円形（だえんけい）、カ：広楕円形（こうだえんけい）、キ：円形（えんけい）、ク：針形（しんけい）、ケ：狭披針形（きょうひしんけい）、コ：披針形（ひしんけい）、サ：卵形（らんけい）、シ：広卵形（こうらんけい）、ス：倒披針形（とうひしんけい）、セ：倒卵形（とうらんけい）、ソ：心形（しんけい）、タ：倒針形（とうしんけい）、チ：腎臓形（じんぞうけい）、ツ：菱形（ひしがた）、テ：三角状（さんかくじょう）、ト：へら形（へらがた）、ナ：矢じり形（やじりがた）、ニ：矛形（ほこがた）

3 葉のへりの形

葉のへり（きょ歯）の様子によりそれぞれ名前がつけられています。

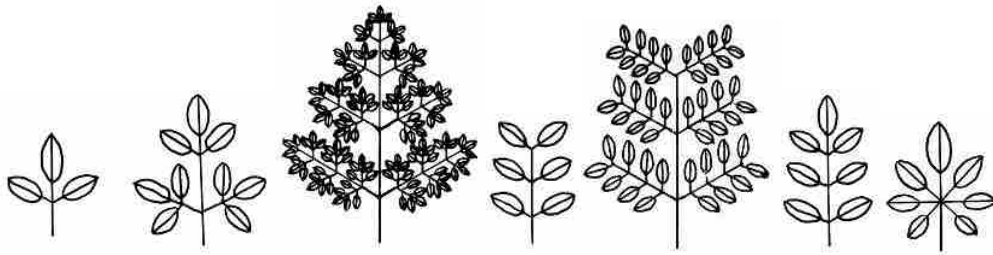
採集した葉のへりの様子がどのようになっているか調べてみましょう。



ア イ ウ エ オ カ

ア：全縁（ぜんえん、切れ込みがない）、イ：波状（なみじょう）、ウ：円きょ歯（えんきよし）、エ：きょ歯（きよし）、オ：歯状（しじょう）、カ：二重きょ歯（にじゅうきよし）

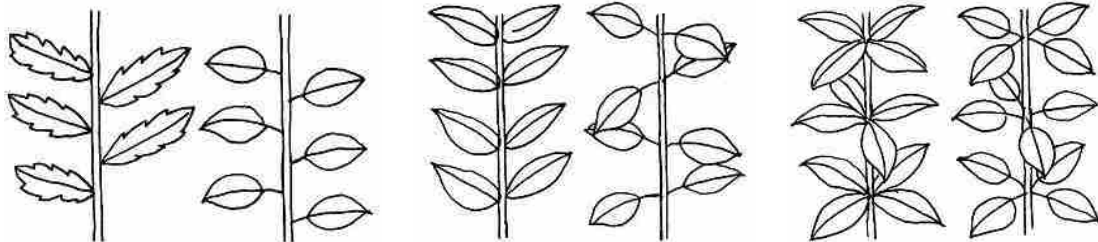
4 複葉



ア イ ウ エ オ カ キ

ア：三出複葉（さんしゅつぷくよう）、イ：二回三出複葉（にかい…）、ウ：三回三出複葉（さんかい…）、エ：（一回）偶数複葉（いっかいぐうすうぷくよう）、オ：二回偶数複葉（にかい…）、カ：奇数羽状複葉（きすううじょうぷくよう）、キ：掌状複葉（しょうじょうぷくよう）

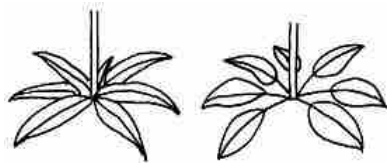
5 葉のつき方



互生（ごせい）：葉が左右にたがいちがいに つきます。

対生（たいせい）：葉が向かい合わせにつきます。

輪生（りんせい）：3枚以上の葉が輪のようにつきます。



根生（こんせい）：茎は短く、葉は地面近くに広がります。

参考URL

野草・雑草検索図鑑（千葉県立中央博物館内の野草検索のサイト）

<http://chiba-muse.jp/yasou2010/>

参考文献

- 1 小学館の図鑑NEO 2 植物(1982)、株式会社 小学館
- 2 濱野周泰 (2008) 原寸図鑑葉っぱでおぼえる樹木、柏書房
- 3 濱野周泰 (2007) 原寸図鑑葉っぱでおぼえる樹木・2、柏書房
- 4 牧野富太郎 (2000) 新訂牧野新日本植物図鑑、北隆館
- 5 展示資料平成 22 年度千葉県立中央博物館生態園トピックス展「はっぱのいろいろ」